

# 甲府市における公共交通の利用促進策について

---



こうふ開府500年  
1519-2019

甲府市 まちづくり部

リニア交通室 交通政策課

# 平成29年度の実施施策

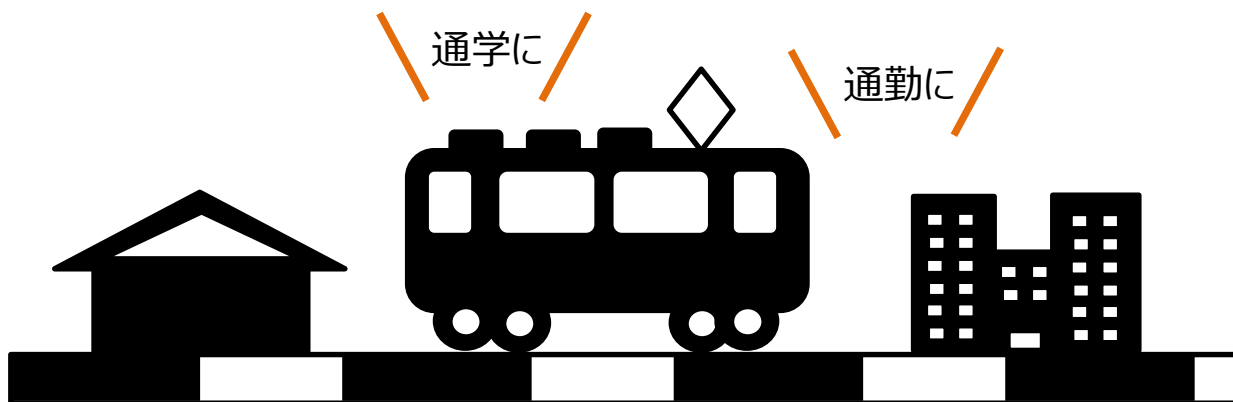
# 遠距離通勤・通学定期券購入補助金制度の創設(平成28年4月～)

## 背景・課題

- ・ 人口(働き手)が流出することは、地域経営をする上で負の影響
- ・ 鉄道利用者が減少することは、運行頻度の低下を招く可能性有
- ・ 定住人口を増やすことは人と人との対流を促進でき、イノベーションを推進することが可能

## 市内居住の促進

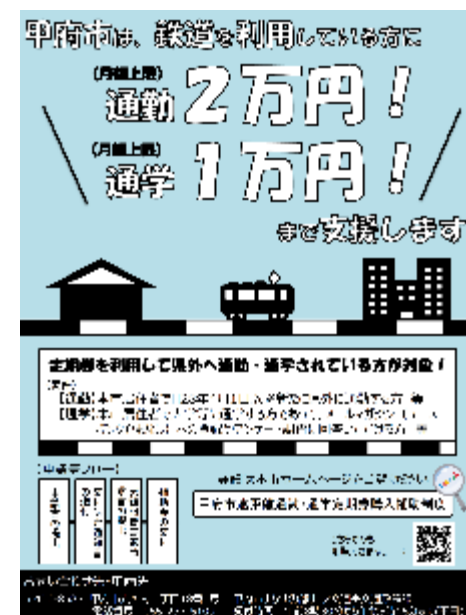
- ・ 東京方面などに対して通勤・通学可能な立地環境を活かし、鉄道利用・定住等促進のため、定期券購入費の一部を補助する制度を創設。
- ・ 補助額などのメリットを明示したポスター・チラシを作成し、広報紙や本市HPへの掲載のほか、高等学校での3者面談時に活用してもらうようチラシを配布するとともに、JR東日本が所管している甲府駅の掲示板に制度周知ポスターを掲示



## 補助金額

- ・ 通勤：月額上限2万円(定期券の金額から通勤手当等を差し引いた額)
- ・ 通学：月額上限1万円(定期券購入費の2分の1の額)

## 【ポスター】



## 関連URL

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/chiikisinko/enkyorituukinhogyoseido.html>

# 本市ホームページでの地域公共交通に関する記述の充実【随時】

## 背景・課題

- 公共交通、特に路線バスが利用されない理由として、バスの乗り方が分からないことなどが挙げられる。  
(山梨県調査において、バスを利用しない理由として1番の理由)

## バスの乗り方などを広く周知

- バスの乗り方などを図表を交えながら解説しつつ、公共交通を未来に残す意義を記載。
- また、インターネットでバス停の時刻表・乗りたいバスの現在位置、目的地までの乗換などを案内するためのサービス（やまなしバスコンシェルジュ）についても周知を図ることで、公共交通の利用が図られるように工夫している。



## みんなで支え未来に残す公共交通

本市では、自家用車中心の社会を見直し、歩行者・自転車・公共交通を優先した健康的で環境に優しく、快適な移動が可能となるまちづくりに取り組んでいます。

高齢者や子どもをはじめ、大勢の皆さんが公共交通に関心を持ち、より多くの方がバスや電車を利用していただくことこそが、公共交通を維持し未来に残せる第一歩につながりますので、ご協力をお願いいたします。

公共交通の利用者数が減少しています。

公共交通は主に通勤・通学や通院・買い物などに利用され、特に高齢者の方や学生には必要不可欠なものです。

しかし、自家用車の普及から過度な自動車中心社会となり、路線バスなどの公共交通の利用者の減少による収支状況の悪化などから、採算の取れないバス路線の廃止や減便が相次いでおります。

今後も利用者の減少が続けば、さらなるサービス低下が懸念されます。

公共交通を利用しよう

自家用車は大変便利な乗り物です。しかし、現在、自家用車を利用している方も、将来運転ができなくなるなど、利用が不可能となることもあるかもしれません。人や環境に優しいまちづくりのためにも、公共交通を利用するライフスタイルへ転換することが望まれます。月に数回でも自家用車の利用を控え、バスや電車などの公共交通を利用する機会を増やすようにしていきましょう。

**1 バスを降ろす**  
バス停で、周囲の交通状況に注意してバスを降ろしましょう。

**2 バスに乗車しよう**  
バスが来たら、後ろ扉からバスに乗ります。  
現金 現金  
ICカード ICカード  
入口で整理券をもらいましょう。  
入口のICカード読み取り機に、ICカードをタッチしてください。  
読み取り音がなり、入金確認（交通系ICカード専用）が実行されます。  
整理券番号も裏面が読まれるので、記入しておきましょう。

**3 降車に備えよう**  
音が空いていれば降車に降り、降車が空いていない場合は、降車の音が響くまで待つ必要があります。

**4 降りる準備**  
降りたいバス停の案内案内が放送されたら、降車ボタンを押します。バスが完全に止まるまで肩に預かっている音が、降車ボタンを押す音が聞こえたら降りましょう。

## 関連URL

# バス事業者と連携・作成したポスター・チラシ

## 背景・課題

- ・ 公共交通の利用者が減少することは、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下につながるようになる。
- ・ 交通弱者の足を守ることが必要。



## 心理学理論を応用したポスター・チラシの作成

- ・ 意図的に市民に対して公共交通がなくなることへの不安を与え、それに対する救済措置を提示することで、公共交通の利用促進を図ることをねらいに作成
- ・ 公共施設及び市内にある教育・商業施設・金融機関等にポスター掲示を依頼するとともに、520自治会に対し、ポスター掲示及びチラシの組回覧を依頼。

『公共交通を未来に残そう運動』実施中

# バスが、消える。

～気付いたら、なくなっていた～

公共交通は利用が少ないと廃線になることをご存知ですか？  
『もう少し早く分かっていたら、何か出来たかも？』

車の利用が多い甲府市。だからこそ公共交通の問題は、市民の皆さまには非常にわかりづらく、危機感を持ちにくいことかもしれません。

しかし、気がついたらいつの間にか  
『あれ？ここにバス停なかったっけ？』  
という事態が起こりうるのです。

誰もが永遠に自家用車を運転できるわけではありません。  
来たる未来に向けて、今こそ!!!

**バスに、バスを守ろう。**  
**乗ろう**

甲府市

お問い合わせ先  
企画部 リニア交通室 交通政策課  
〒400-8585  
甲府市丸の内一丁目18番1号  
電話 055-237-5109

★詳細は甲府市公式ウェブサイトにて掲載しております。  
甲府市 公共交通を未来に残そう

## ○ 作成手順

- ・ 行政が原案を作成し、バス事業者に提示
- ・ 行政とバス事業者との調整後に、バス事業者がポスター、チラシを印刷して供給

## 関連URL

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/basugakieru.html>

# 市職員を対象とした「こうふエコ通勤デー」制度の創設

## 背景・課題

- 公共交通の利用者が減少することは、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下につながるようになる。
- 交通弱者の足を守ることが必要。

## 市職員自らが地域の足を守る取組の実施

- 市民の皆様の足を守るべく、市職員が率先して通勤手段を公共交通へと切り替える取組である「こうふエコ通勤デー（毎週金曜日）」を平成29年9月より実施。
- 毎週木曜日に職員向けの掲示板への掲載や本庁舎での放送により、実施の協力を呼びかけ。

毎週金曜日は「こうふエコ通勤デー」

職員の行動で市民の皆様の足を守ろう!!!

公共交通を利用した通勤をはじめませんか?

健康増進

維持・活性化

マイカー以外で通勤すると...

渋滞解消

CO2排出削減

職員が率先して通勤手段をマイカーから公共交通等へ切り替えることで、公共交通の利用促進やCO2排出削減、心身の健康増進につながります。また、啓発や呼びかけでこの取り組みを市内全域の取り組みへと発展させることで、地球に人に優しいまちづくりにつながります。

やまなしバスコンシェルジュ <https://m.busmaps.jp/yamanashi/>

企画部 リニア交通室 交通政策課

総務部 人事管理室 労務衛生課  
福祉部 福祉保健課 健康増進課  
環境部 環境総室 環境保全課

通勤方法別の割合		
平成29年度	徒歩	4.07%
	バイク・自転車	47.78%
	車	39.19%
	バス	2.59%
	電車	6.38%
平成30年度	徒歩	3.64%
	バイク・自転車	46.85%
	車	38.78%
	バス	3.28%
	電車	7.45%



# 公共交通出前講座の実施

## 背景・課題

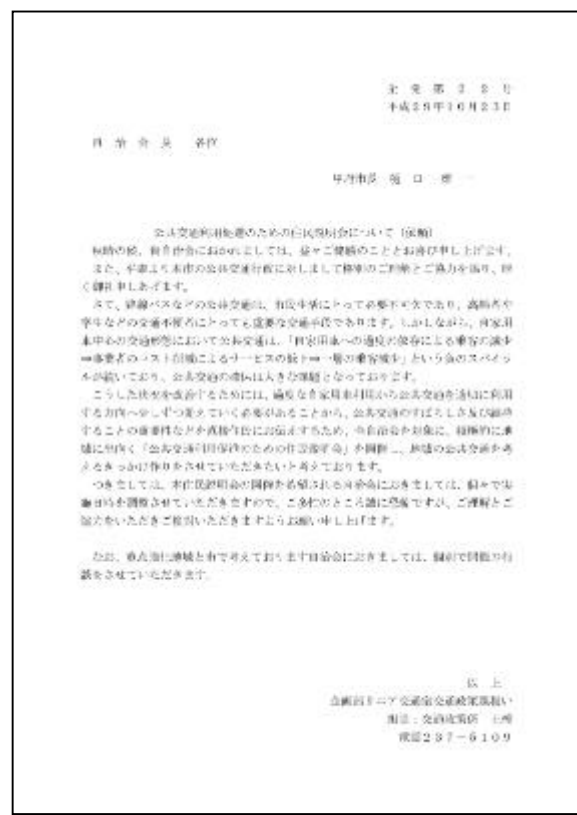
- 公共交通の利用者が減少することは、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下につながるようになる。
- 交通弱者の足を守ることが必要。



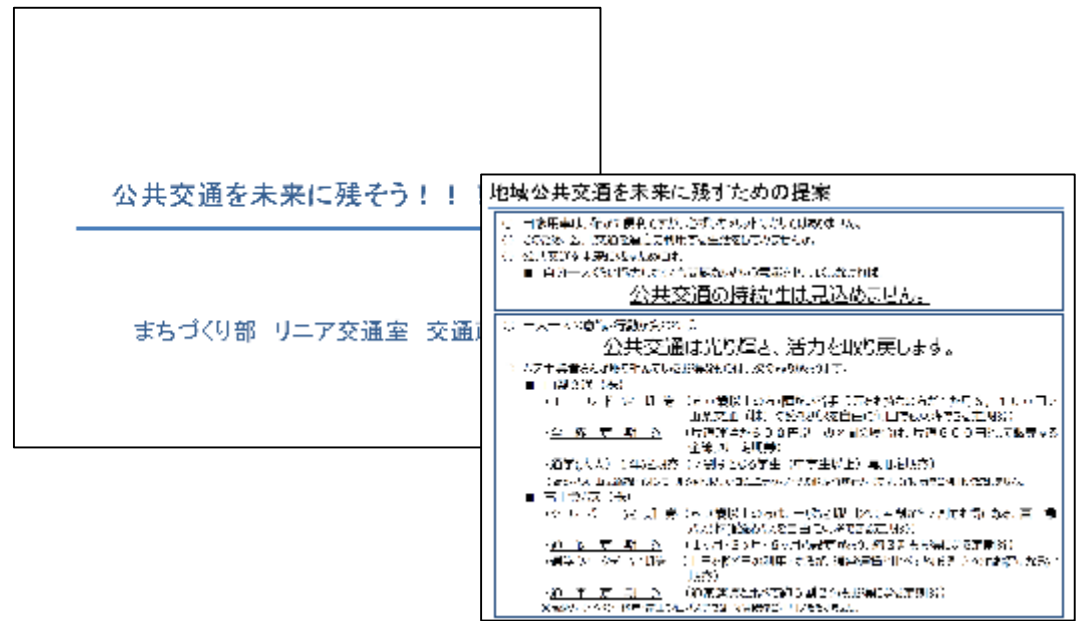
## 直接住民に公共交通の重要性を説明

- バス事業者による定期券制度（60歳以上の方は月額6,100円で乗り放題等）などのメリットを紹介して公共交通の利用を促進するため、出前講座を実施。
- 各自治会長に出前講座を周知するとともに、生涯学習担当が集約している甲府市の出前講座一覧への掲載により広く市民に対しても周知を図った。

### 【自治会依頼文書】



### 【出前講座資料】



520自治会のうち、16自治会で実施  
（平成30年8月28日現在）

# サイクル・アンド・ライド駐輪場の創設

## 背景・課題

- 公共交通、特に路線バスが利用されない理由として、自宅からバス停までの距離が遠いことが挙げられる。  
(山梨県調査において、バスを利用しない理由として5番目に高い理由)

## 公共交通に乗り換える仕組みの導入

- 自転車で最寄りのバス停や駅まで来て、公共交通に乗り換えるシステムを平成30年2月より導入。
- バス路線が充実しているバス停周辺の施設内にサイクル・アンド・ライド駐輪場を設置することで、公共交通利用者の利便性の向上を図る。



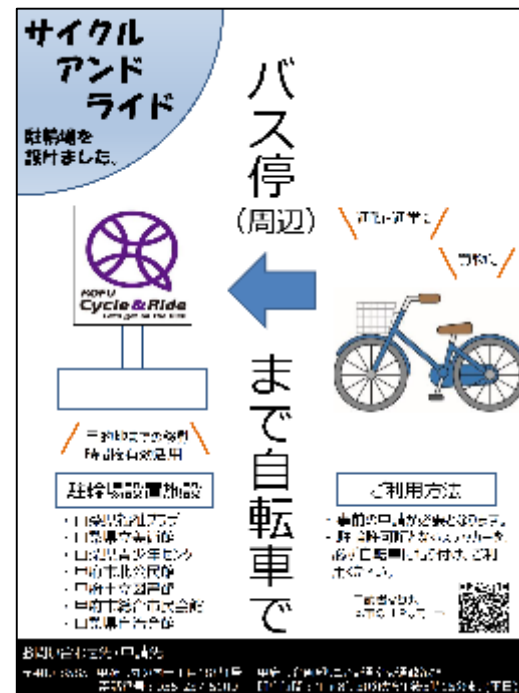
**サイクル・アンド・ライド駐輪場**

ご利用方法  
 ・事前の申し込みが必要になります。下記担当課まで連絡ください。  
 ・駐輪場及び駐輪枠からはみ出さないように駐輪してください。  
 ・駐輪場での盗難・損壊に関しては、施設管理者及び甲府市は一切責任を負いません。自己の責任において、適切に管理してください。

甲府市企画部 二ノ宮交通室 交通施設課  
 電話 055-237-5109

施設名	最寄りのバス停
山梨県福祉プラザ	山梨県福祉プラザバス停
山梨県立美術館	山梨県立美術館バス停
山梨県青少年センター	山梨県青少年センターバス停
甲府市北公民館	湯村温泉入口バス停
甲府市立図書館	甲府市立図書館入口バス停
山梨県自治会館	山梨県自治会館前バス停
甲府市総合市民会館	甲府市総合市民会館バス停

路線バスと自転車そして人との縁を感じる」をコンセプトに、シンボルマークを作成



**サイクルアンドライド**  
駐輪場を設けました。

バス停(周辺) まで自転車で

ご利用方法  
 ・事前の申請が必要となります。  
 ・駐輪枠内からはみ出さないよう駐輪してください。

お問い合わせ  
 〒401-8585 甲府市二ノ宮一丁目10-10 甲府市企画部二ノ宮交通施設課  
 電話 055-237-5109 FAX 055-237-5109

## 【周知チラシ】

## 関連URL

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/saikuruandoraido.html>



# 高校進学を控えた中学3年生に対するチラシの配布

## 背景・課題

- ・ 公共交通の利用者が減少することは、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下につながるようになる。
- ・ 交通弱者の足を守ることが必要。

## ターゲットを絞る形での利用促進策の展開



- ・ 高校での通学手段として路線バスを利用してもらえるよう、路線バスが充実しているためバスを利用しやすい高等学校別の時刻表の情報提供等を図るため、チラシを作成。
- ・ 本市HPへの掲載のほか、市内中学校に所属する中学3年生にチラシを配布した。また、配布時には、バス事業者で実施している通学定期券に関するチラシも同封

## 【チラシ内容】

高校からは  
**バス通学!**  
～時間を有効活用しよう～

通学に便利!

バス通学しやすい高校の  
時刻表を掲載中!

詳しくはこちら

### バス通学のメリットとは?

<h4>時間の有効活用</h4> <p>友達と一緒したり、本を読んだり、勉強したり、いろいろな作業をしながら...様々なことに通学時間を活用できます。また、入校に不着になることなく快適な時間を過ごせます。</p>	<h4>安全・安心</h4> <p>慣れない道順の案内、注意欠の低下による交通事故の防ぎます。また、自転車では禁止されていますが、バス通学なら音楽が聴くことができます。</p>
<h4>規則正しい生活習慣</h4> <p>公共交通の時間に合わせて自分の時間を調整することで規則正しい生活に就けます。朝起きる習慣が社会人への第一歩を踏み出しましょう。</p>	<h4>環境にやさしい</h4> <p>大抵のバスはCO2を、自動二輪車よりバスなら3分の1程度になります。バスは環境にやさしい乗り物です。</p>

バスに乗って歩いて健康的な体も保ちよう!

## 【同封チラシ】

山梨交通 **通学定期券** のご案内

内の日、嵐の日、毎日安心して利用出来る  
路線バスをおトクにカシコく使いこなそう!

通学や課外授業などに活用するなら学生専用の1年定期券が断然おトクです!

70% OFF

108 OFF 43% OFF 46% OFF

1,100 880 670 1,100

① 山梨交通の路線バスなら、購入した区間範囲以内でどこでも乗り放題!  
② 朝のバスに乗り込める場合、どちらか安い会客の通学定期券で両方乗車が可能!  
③ i-caにもバス定期券の値引きが可能。定期券を1枚にまとめられる!  
④ 定期券購入の支払いに、クレジット・電子マネーが使えます!

定期でなくてもSF利用でおトク

バスお

## 関連URL

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/basutsugaku.html>

# 観光課が主催した「スタンプラリー」企画と連動して「路線バス」の利用を促進

## 背景・課題

- 公共交通の利用者は、平日よりも休日の方が少なくなっている。
- 観光客の移動手段として、公共交通の分担率は低くなっている。



## 既存の施策に重ねがけを実施

- スタンプラリーの目的地までの移動手段として路線バスを活用しやすくなるよう、目的地までの時刻表を作成して、日常ではない空間を子どもに体験してもらう機会を創出。
- 本市ホームページへの掲載や、観光案内所で時刻表を周知。

2019こうふ開港500年 KOFU × 戦国BASARA

スタンプラリー 連動企画

武田の印を『路線バス』に乗って完全制覇するのだ!!!

甲府市エリア

●其の表[園園が緑園] (お土産売店かぶとや).....バス降車後 徒歩0.5分  
○甲府駅北口 - 武田神社.....自動改札の付通運賃 100円

甲府駅北口	→	武田神社	武田神社	→	甲府駅北口
× 7:00	→	7:54	× 8:10	→	8:18
× 8:00	→	8:48	× 8:25	→	8:33
8:15	→	9:09	8:30	→	8:38
× 8:45	→	9:39	× 9:10	→	9:18
9:05	→	9:51	9:20	→	9:28
9:15	→	9:61	10:00	→	10:08
10:00	→	10:06	10:30	→	10:38
10:30	→	10:38	1:00	→	1:08
11:00	→	11:06	1:30	→	1:38
11:30	→	11:38	12:00	→	12:08
12:00	→	12:06	12:30	→	12:38
12:30	→	12:38	13:00	→	13:08
13:00	→	13:06	13:30	→	13:38
13:30	→	13:38	14:00	→	14:08
14:00	→	14:06	14:30	→	14:38
14:30	→	14:38	15:00	→	15:08
15:00	→	15:06	15:30	→	15:38
15:30	→	15:38	16:00	→	16:08
16:00	→	16:06	16:30	→	16:38
16:30	→	16:38	17:00	→	17:08

※平日・休日も同様







# 平成30年度の実施施策

# 平成29年度に作成したバスマップの全戸配布

## 背景・課題

- 公共交通、特に路線バスが利用されない理由として、路線バスの運行状況が分からない、バス停がどこにあるかが分からないなどの情報不足によるものが多いことなどが挙げられる。(山梨県調査において、バスを利用しない理由として上位の理由)

## 市内を5つのエリア（東・西・南・北・中央）ごとにバスマップを作成

- 各地域の路線バスに関する情報を掲載することで、各地域にお住まいの方がその地域での買い物や通院などで路線バスを利用しやすくしている。
- 自治会を通じて、平成30年5月に全戸配布を行ったほか、ラジオへの出演、本市ホームページへの掲載、ライフスタイルの変容が行われる機会に路線バス情報を入力できるように、本市の転入・転出受付窓口や警察署の免許返納窓口などにも設置。



地域のアイデンティティを  
バスマップごとに記載

## 関連URL

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/basumap.html>



# 「甲府市バス・鉄道乗る乗るレンジャー」制度の創設

## 背景・課題

- 公共交通の利用者が減少することは、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下につながるようになる。
- 交通弱者の足を守ることが必要。

## 公共交通保護指導員（レンジャー）制度の創設

- レンジャーの持つ情報発信力を通じ、本市の公共交通に関する施策などを市内外に発信していただき、自家用車の利用を控え、適度に公共交通を利用する行動の普及させることを目的に平成30年6月に創設。
- フェイスブック・ツイッター等のSNSにおいて、フォロワー数や登録者数を多く抱えていることから、従来では得られなかった高い宣伝効果を獲得することが可能。



いろいろ言わんと、  
乗ってーやあ。

関連URL

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/renjya.html>

# ポスター 作りました！



「公共交通を未来に残そう」運動実施中

# とにかく 乗ってやあ〜！



地域の足である、  
バス・鉄道をなくさないようにする取組としては、  
『公共交通が必要だ！』と叫ぶよりも、  
公共交通事業者としては、  
【まずは乗っていただくこと】の方が  
ありがたいのです。  
1人が1年に10回乗車するだけで  
良いのです。  
ご理解・ご協力をお願いいたします。



甲府市バス・鉄道乗る乗るレンジャー  
『みなみおばちゃん』

1人1年  
10回乗車  
してや！



公共交通は  
あなた次第  
やで！

お問い合わせ先  
甲府市企画部リニア交通室交通政策課  
〒400-8585  
甲府市丸の内一丁目18番1号  
電話 055-237-5109

★「バスの乗り方動画もご覧ください」。

みなみおばちゃん  
バスの乗り方動画



# 「こうふエコ通勤デー参加協力事業所」制度の創設

## 背景・課題

- ・ 公共交通の利用者が減少することは、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下につながるようになる。
- ・ 交通弱者の足を守ることが必要。

## 市内の事業所にエコ通勤を促進



- ・ 本市（本庁舎）のエコ通勤の取組について、公共交通利用推進等マネジメント協議会より評価を受け、エコ通勤優良事業所として平成30年7月に認証。
- ・ 本市としては、エコ通勤の取組の裾野を市内の全ての事業所に広げるべく、「こうふエコ通勤デー参加協力事業所」制度を平成30年8月に創設。
- ・ 商工会議所や、本市ホームページ等で、制度の周知を実施。

平成30年10月5日の認定証交付の様子

(左から) 山梨交通(株)、(株)早野組、東京ガス山梨(株)、東京電力パワーグリッド(株) 山梨総支社



### 【本市他課との連携】

- 本市の入札参加資格者名簿は、2年に1度更新しており、その審査を行う際、「こうふエコ通勤デー参加協力事業所」の認定を受けている事業所を加えることとしている（令和2年11月施行）

裾野の  
拡大のため



## 関連URL

【エコ通勤優良事業所への登録】<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/yuryojigyosyo.html>  
 【「こうふエコ通勤デー」参加協力事業所制度】<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/ekotsukin.html>



# 「バスの乗り方動画」の制作

## 背景・課題

- ・ 公共交通、特に路線バスが利用されない理由として、バスの乗り方が分からないことなどが挙げられる。  
(山梨県調査において、バスを利用しない理由として1番の理由)

## 「バスの乗り方動画」の放映

- ・ 今までバスに乗らなかった方々に対して、バスを身近に感じてもらい、さらには、バスの利用促進につなげられるよう、「バスの乗り方動画」を平成30年9月から放映。
- ・ 本市ホームページ、本庁舎の大型ビジョン、広報こうふ10月号や、みなみおばちゃんによるSNSでの発信を行っているほか、バス事業者HPに「バスの乗り方動画」をリンクを貼り付けて動画を周知することで、順調に閲覧数は増加。
- ・ 今までバスに乗らなかった方々のバス乗車が期待。



## 関連URL

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/norikatadoga.html>



# 「バスの絵」作品の募集

## 背景・課題

- 公共交通の利用者が減少することは、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下につながることになる。
- 将来に渡っても公共交通を残していくには、利用者を増やすための仕掛けづくりが必要である。

## バス車内を美術館化

- 子どもたちにバスをもっと身近に感じてもらい、さらには家族や地域全体において地域公共交通への関心を高めてもらうことを目的に平成30年7月に創設。
- 応募作品は、山梨交通（株）の路線バス車両（1台）に全て展示し、平成30年9月29日から平成30年11月4日の間、「バスの絵美術館バス」として運行。
- 平成30年9月28日にお披露目会を市庁舎内で開催し、180人の来場者となった。
- 応募作品を原則全てバス車内に展示することは、全国初の取組。



「バスの絵」の作品募集  
～バスの車内は美術館～

テーマ

- ・バスの思い出
- ・あったらいいな、こんなバス

作品募集

- ・甲府市内の小・中学校に在籍する児童生徒

展示場所

- ・場所 バス車内（県内の路線バス）
- ・期間 平成30年9月下旬から10月下旬まで

※ 応募作品は、原則として全て車内展示します。  
※ なお、応募作品が多数の場合は、1点ごとの展示期間が短くなることもあります。



## 関連URL

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/basunoe.html>



# 「バス川柳」作品の募集

## 背景・課題

- 公共交通の利用者が減少することは、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下につながるようになる。
- 将来に渡っても公共交通を残していくには、利用者を増やすための仕掛けづくりが必要である。



## バス車内を文化祭化

- 多くの市民にバスをもっと身近に感じてもらい、さらには家族や地域全体において地域公共交通への関心を高めてもらうことを目的に平成31年1月に制度化。
- 応募作品は、山梨交通（株）の路線バス車両（1台）に全て展示し、平成31年2月26日から平成31年3月31日の間、「バス車内で文化祭バス」として運行。
- 平成31年2月26日にお披露目会を市庁舎内で開催予定。（バスの思い出作品39点、あったらいいな、こんなバス16点応募）
- 応募作品を原則全てバス車内に展示することは、全国初の取組。

～バスの車内は文化祭～  
「バス川柳」作品募集

**テーマ**  
・バスの思い出  
・あったらいいな、こんなバス

**応募対象**  
・甲府市民どなたでも

**展示場所**  
・場所 バス車内（県内の路線バス）  
・期間 平成31年2月中旬から3月下旬まで

※ 応募作品は、原則として全て車内展示します。  
※ なお、応募作品が多数の場合は、1点ごとの展示期間が短くなることもあります。

バスの車内は文化祭  
バス川柳応募作品

【バスの思い出部門】  
懐かしい 友偶然に 会えたバス  
城東 佐野 越子 九十二歳

【バスの思い出部門】  
運命の 出会いをバスは そととくれ  
下飯田 深澤 弘 七十七歳

【バスの思い出部門】  
ボンネット バスで一休 峠越え  
横根町 若林 寿美子 七十七歳

【バスの思い出部門】  
もうすぐだ しようがっこう バスでいく  
千塚 土橋 志皇 六歳

バスの車内は文化祭  
バス川柳応募作品

【あったらいいな、こんなバス部門】  
あと一歩 笑顔待ってる 路線バス  
善光寺 仲澤 健 八十歳

【あったらいいな、こんなバス部門】  
このバスは まもなく到着 月の駅  
山宮町 萩原 章 七十四歳

【あったらいいな、こんなバス部門】  
お買いもの スーパーめぐりの 路線バス  
朝氣 矢野 勝美 八十一歳

【あったらいいな、こんなバス部門】  
ドライバー イケメン揃えて 運行し  
運

## 関連URL

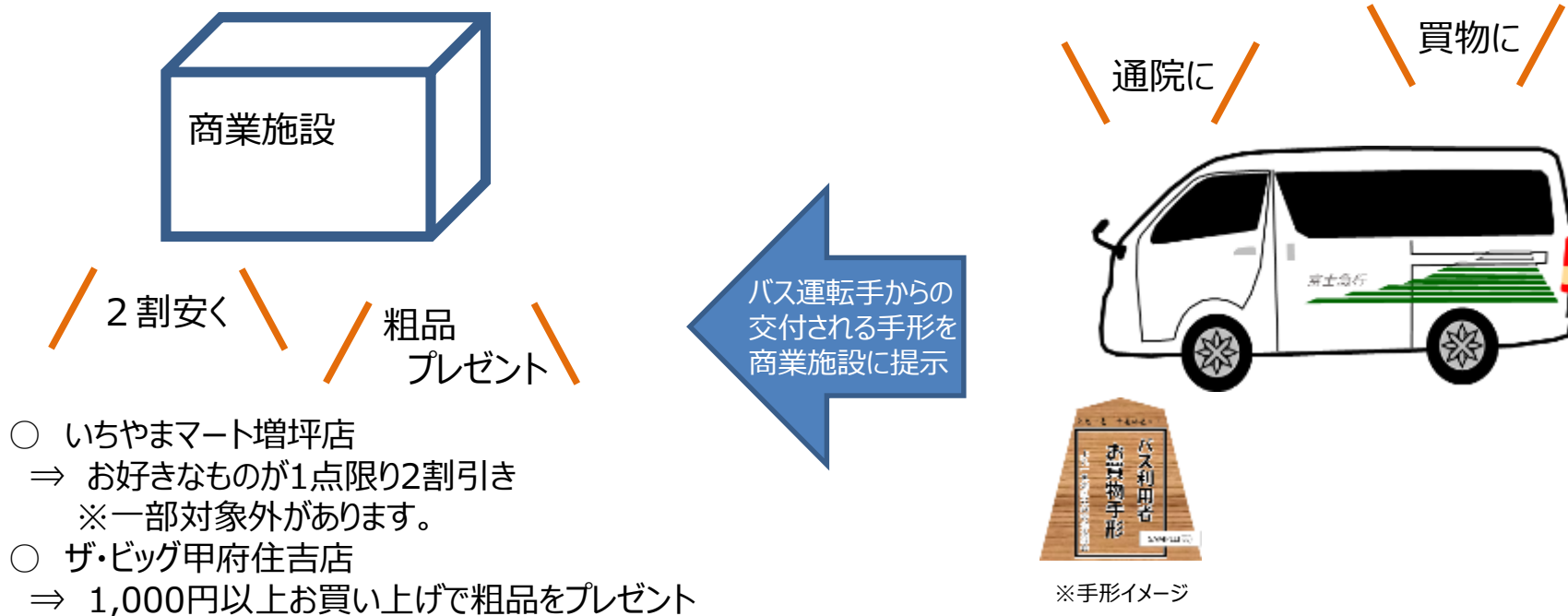
# 「バス利用お買物手形実証実験事業」の実施

## 背景・課題

- ・ コミュニティバス利用者が減少することは、運行委託料の増額につながる場合があり、市の財政負担を圧迫することが考えられる。
- ・ 乗車閑散時間帯にバスの利用者を増やすための仕掛けづくりが必要となる。

## バスの利用で買物がお得に

- ・ 通勤・通学時間帯ではない時間帯のバス利用を創出するため、市民、バス事業者、行政、企業が協働した取組を平成31年2月に創設。
- ・ 上九一色・中道地区コミュニティバス運行経路内にある商業施設において、バス運転手より交付されたお買物手形を商業施設に提示すると、商品割引などのサービスをバス利用者が受けられる。



## 関連URL

# 令和元年度の実施策

# 「マイバス・鉄道時刻表」の作成・提供【令和元年5月～】

## 背景・課題

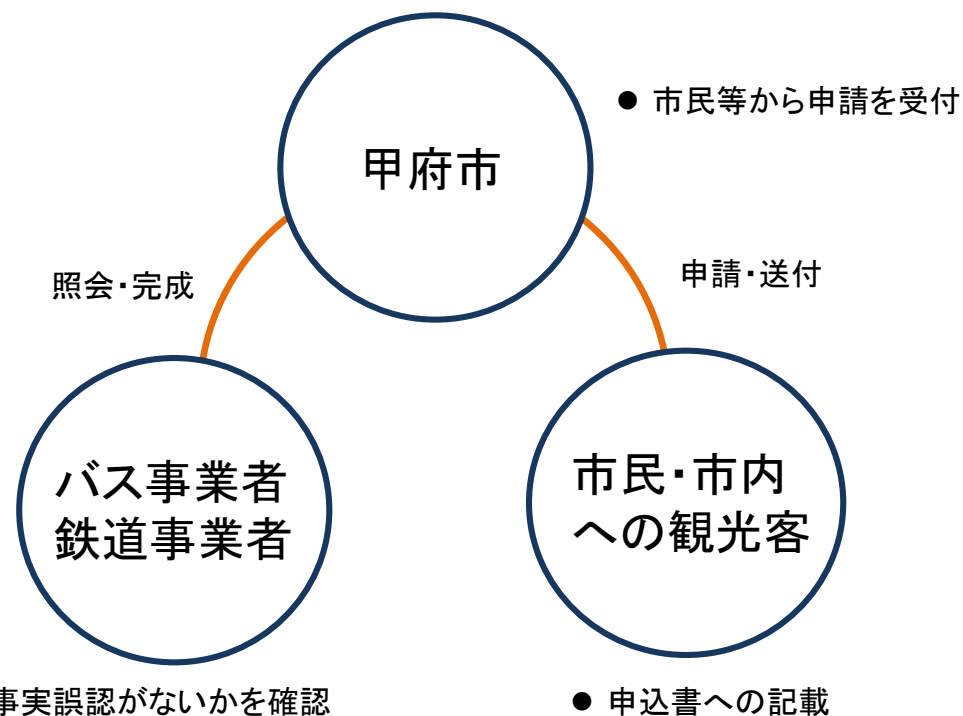
- 「バス・鉄道の時刻表から必要な部分を読み取るのが苦手」「最寄りのバス停名などが分からない」などの高齢者の方への対応を図る必要がある。

## 市内移動の円滑化

- 市民の皆様へ個人の利用ニーズに応じた専用の時刻表を作成。配布（要申込）することで、公共交通での移動を促すことができるとともに、市内移動の円滑化を図られる。
- また、事業者にとっては、利用者・運賃収入の増加が見込まれることになり、公共交通事業者の収益を安定させることができることから、持続可能な公共交通の形成の一助となる。



## 【周知チラシ】



## 関連URL

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/jikokuhyo.html>

# 「バス縁地」※ 制度の創設【令和元年7月～】

## 背景・課題

- 市内のバス路線に設置されている「バス停」は、一部を除いて屋根やベンチがないものがほとんどであり、気象状況などの関係がある中で、バスの到着を待つことは、乗客にとって利便性が高いとはいえない状況。



## バス停近隣施設との連携によるバス待ち環境の改善

- バス停周辺に立地している商業施設等と連携し、バスの待合環境を提供する取組を制度化。
- バス停周辺のコンビニなどの民間施設からの協力を得た上で、民間施設内に設置されているイートインスペースなどの空間をバスの待合スペースとして提供することで、利用者の利便性を向上を図っている。

※【バス】と「市民」との縁をとりもつ場所を意味しており、人が行き交う場所である遊園地をイメージしています。



**バス縁地**  
「セブンイレブン 甲府貢川店」  
バスが来るまで、こちらでお待ちください。

★ 印伝の柄にも使われる日本の伝統家紋「七宝」をバスロイヤルマーク。

★ 七宝柄は、甲府が連続していることから、さらに「縁や円滑・調和」を表現しているとされ、その意味から、バス、人及び自転車の「縁がより密になり、安全かつ快適な乗客の乗降が実現される」というイメージをデザインしています。

★ バスと自転車のタイヤの間に、そして人間の手のひらと自転車のタイヤとの間に、縁のイメージを組み合わせることにより、安全かつ快適な乗降を実現し、そのおかげで、乗客の乗降がより密になり、安全かつ快適な乗客の乗降が実現されるというイメージを表現しています。

なお、『やまなしバスコンシェルジュ』バス接近情報を活用いただき、「山梨県立美術館（甲府駅方面）」、「上石田町（敷島・垂崎・麻沢営業所方面）」を通過しましたら、バス停に向かってください。

QRコードはこちら ⇒ 

甲府市まちづくり部 二ア交通室 交通政策課  
電話 055-237-5109

## 【施設看板】

市のバス路線網の中で充実している、次の沿線施設を「バス縁地」施設としています。

※「バス縁地」対象施設は、適宜拡充していく予定です。

- **セブンイレブン 甲府貢川店**（最寄りバス停：貢川）  
⇒ 最寄りバス停は、1日54便運行

- **山梨県福祉プラザ**（最寄りバス停：山梨県福祉プラザ）  
⇒ 最寄りバス停は、1日31便運行

- **中北保健福祉事務所**（最寄りバス停：遊亀公園）  
⇒ 最寄りバス停は、1日15分に1本間隔で運行

## 関連URL

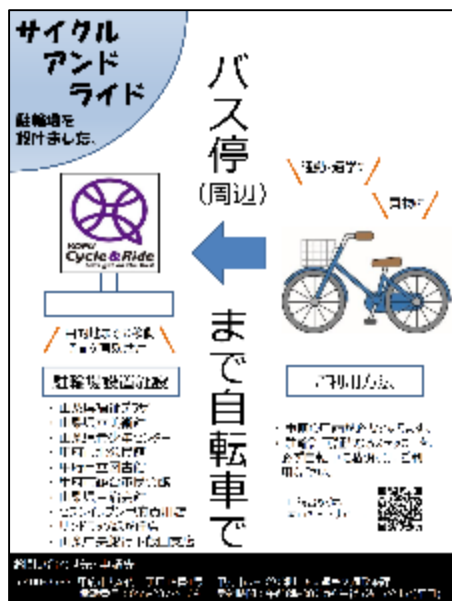
# 「サイクル・アンド・ライド」事業の拡充【令和元年7月~】

## 背景・課題

- ・ 公共交通、特に路線バスが利用されない理由として、自宅からバス停までの距離が遠いことが挙げられる。（山梨県調査において、バスを利用しない理由として5番目に高い理由）
- ・ 市全体のバス路線網を考慮すると、公共施設だけでは充足できない状況となっている。

## 公共交通に乗り換える仕組みの導入

- ・ 自転車で最寄りのバス停の周辺施設まで来て、公共交通に乗り換えるシステムを平成30年2月より導入（要申請）。
- ・ バス路線が充実しているバス停周辺の施設内にサイクル・アンド・ライド駐輪場を設置することで、公共交通利用者の利便性の向上を図る。
- ・ 令和元年度においては、駐輪場設置施設を民間施設まで拡充しており、公共交通利用者の利便性の向上を図っている。



【周知チラシ】

施設名	最寄りのバス停
山梨県福祉プラザ	山梨県福祉プラザバス停
山梨県立美術館	山梨県立美術館バス停
山梨県青少年センター	山梨県青少年センターバス停
甲府市北公民館	湯村温泉入口バス停
甲府市立図書館	甲府市立図書館入口バス停
山梨県自治会館	山梨県自治会館前バス停
甲府市総合市民会館	甲府市総合市民会館バス停

令和元年7月に駐輪場設置施設を民間施設まで拡充

施設名	最寄りのバス停
セブンイレブン甲府貢川店	貢川バス停
サンドラッグ緑が丘店	塩部バス停
山梨中央銀行下飯田支店	長松寺町バス停

## 関連URL



# 「多言語に対応した甲府市観光バスマップ」の作成【令和元年9月～】

## 背景・課題

- ・ 公共交通の利用者は、平日よりも休日の方が少なくなっている。
- ・ 観光客の移動手段として、公共交通の分担率は低くなっている。

## インバウンドの観点でも路線バスの二次交通化を促進

- ・ 観光客をターゲットにバス路線沿線地域の観光地情報を含んだ「甲府市観光バスマップ」を平成30年10月に作成しており、今般、外国人観光客向けに多言語（英語、中国語、韓国語）対応しているバスマップを作成。
- ・ 路線バス情報を外国人観光客等に提供することにより、二次交通としてご活用いただくとともに、路線沿線地域の活性化が図られることが期待。
- ・ 観光案内所等に設置。



## 関連URL

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/tagengo.html>

# みなみおばちゃんの「交通環境学習」出前講座の実施【令和元年10月～】

## 背景・課題

- 公共交通の利用者が減少することは、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下につながることになる。
- 交通弱者の足を守ることが必要。

## 公共交通の利用に関する意識醸成

- 未来を担う子どもたちが、まちづくりを通じて公共交通の在り方を学び、個人や社会・環境にとって望ましい移動手段を把握した上で、持続的な公共交通の実現に向けて自発的に働きかける能力を養ってもらうことを目的に、市内の小学校（28校）・中学校（15校）に出前講座（動画放映）を実施
- 出前講座を行うにあたっては、出前講座の趣旨が分かりやすく伝わるように、映像媒体として「みなみおばちゃんの交通環境学習※」動画を作成

※「人・社会・環境にやさしい」という観点より、一人ひとりの移動手段や社会全体の交通を見直し・改善していくために、自発的な行動を取れる人を育てていくことを目指した教育活動



## 関連URL

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/kokyokotsu/kotsugakusyuu.html>

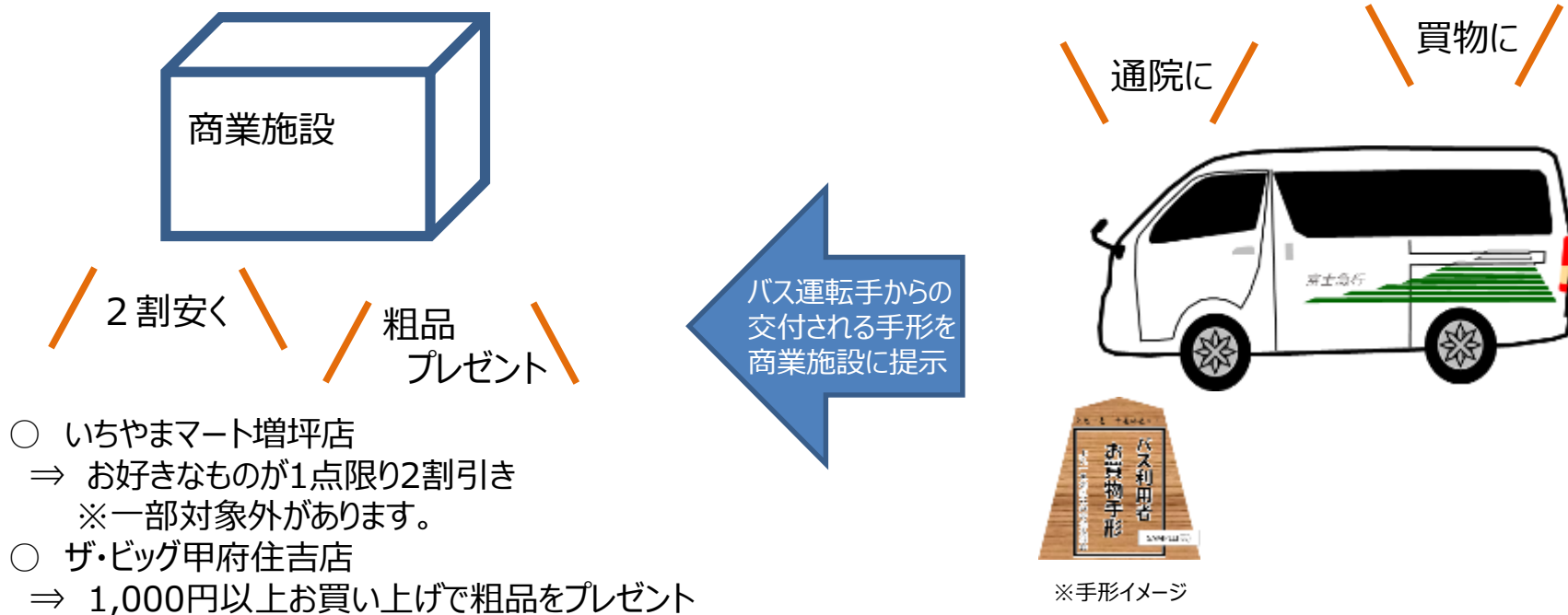
# 「バス利用お買物手形」事業の本格実施【令和2年2月～】

## 背景・課題

- ・ コミュニティバス利用者が減少することは、運行委託料の増額につながる場合があり、市の財政負担を圧迫することが考えられる。
- ・ 乗車閑散時間帯にバスの利用者を増やすための仕掛けづくりが必要となる。

## バスの利用で買物がお得に

- ・ 通勤・通学時間帯ではない時間帯のバス利用を創出するため、市民、バス事業者、行政、企業が協働した取組を平成31年2月に創設。
- ・ 上九一色・中道地区コミュニティバス運行経路内にある商業施設において、バス運転手より交付されたお買物手形を商業施設に提示すると、商品割引などのサービスをバス利用者が受けられる。



## 関連URL

# ICカード利用相談会の実施【令和2年3月】

## 背景・課題

- 現金収受が伴うことにより、例えば路線バスでは、停留所ごとの停車時間が長くなることにより、安全性や定時性の面で課題。
- 移動の利便性を向上することは、外出の機会を増やし、生きがいや健康づくりを行っていくことにもつながる。



## 移動の利便性向上

- 鉄道から路線バスに乗り継ぐ需要などが多く存在する甲府駅において、ICカードの利用促進に向けた相談会を実施。
- ICカードの利用促進は、乗降時間の短縮などによる公共交通（特に路線バス）の定時性の確保をはじめ、外出機会の創出、割引制度の活用などによる利用者負担の軽減、鉄道や路線バスなどの交通モード間の移動の円滑化などが図られる。
- 諸般の事情で、2日で12組の来場者となっているが、引き続き実施する予定。

【来場者への配布資料】



# 令和2年度の実施施策



## 背景・課題

- ・ 公共交通の利用者は、平日よりも休日の方が少なくなっている。
- ・ 観光客の移動手段として、公共交通の分担率は低くなっている。

## インバウンドの観点でも路線バスの二次交通化を促進

- ・ 市内の主要な観光地を路線バスで巡るモデルルートを令和2年10月に作成しており、国内観光客等に提供することにより、二次交通としてご活用いただくとともに、路線沿線地域の活性化が図られることが期待。
- ・ モデルルートは、県内随一の交通結節点の甲府駅周辺に立地している観光案内所に設置したほか、本市HPで公表



## 関連URL